

様式 2

平成21年度 第1回安曇野市スポーツ振興計画策定委員会 会議概要

1	審議会名	スポーツ振興計画策定委員会
2	日 時	平成21年10月30日 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	明科総合支所 大会議室
4	出席者	古澤会長、加々美副会長、赤羽委員、大谷委員、降旗委員、増沢委員、高橋委員 宮沢委員、二木委員、阿部委員、今村委員、征矢野委員、松澤委員、廣田委員 鹿川委員、会田委員、内川委員、布山委員、山田（賢）委員、山田（文）委員 矢野委員、臼井委員、青柳委員
5	市側出席者	大内教育次長、赤羽課長・藤原係長・横山企画員・中島主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成21年11月4日

協 議 事 項 等	
1	会議の概要 (1) 開会（赤羽課長） (2) 教育次長あいさつ (3) 自己紹介 (4) 会長・副会長選出（古澤委員、加々美委員選出） (5) 委員会の概要説明 (6) 協議事項 ①スポーツ振興計画策定の概要について ②安曇野市スポーツ振興施策の概要について ③安曇野市スポーツ施設の現況について (7) 閉会（赤羽課長）
2	協議概要 (1) スポーツ振興計画策定の概要について (会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。 (事務局) 【資料内容説明】 (会 長) 簡単にまとめると、我々委員会のやることはスポーツ振興施策、事業の重点化を図ること、アンケート調査の内容の検討し、実際の意向を計画に反映させること、施設の整備、建替等に関する基本的な考え方を示すことを平成29年までを目処にして平成23年4月までに作るということになる。質問、意見等あったらお願いしたい。 (副会長) 市として振興計画をたてるにあたり最終的な具体的なイメージはあるのか。例えば具体的に陸上競技場を造りたいとか、代表して競技団体を送りだしたいとか、おおよそのそういうイメージはあるのか。 (事務局) その辺のところを含めて、この委員会の中で市民の意見を十分、反映し策定していきたい。 (会 長) 特に決まっていないということでこれから決めていこうということか。 (事務局) そういうこと。この中でできる限り市民の意見を吸収しながら、策定の中に取り入れて欲しい。 (事務局) 耐震補強など緊急性のあるものについては、最優先に考える。 (副会長) 最終的なイメージを聞きたい。おおよそそういう風にしたいというものがないと何のために話をすればいいのか、どんな具体的なことを考えればいいのか難しい。

協 議 事 項 等

- (事務局) まずは、市民のための市民の使いやすい、利用しやすい施設を市民の声を聞きながら整備していかなければいけない。スポーツ振興も多くの方が参加できるようなものにしたい。
- (委 員) 総合計画にはどのように書かれているのか。
- (事務局) 資料の13ページに総合計画のスポーツの部分の部分を載せてある。スポーツ振興計画では、さらに具体的なもの作っていただきたい。
- (委 員) これをイメージして計画を作るということはわかった。
- (会 長) みなさんの中でこんなことをやってみたいといことがあれば聞かしてほしい。
- (委 員) スポーツに関心のない方も考えに含めた計画なのか、それともスポーツをする方だけなのか。
- (事務局) 総合計画にあるようにスポーツ、レクリエーション活動の普及、振興を図っていききたい。また、施設のほうでは多様化したニーズに応えるよう、新たな施設の研究を進めるとうたっている。
- (会 長) いろいろな方が対象ということか。
- (事務局) そうである。
- (委 員) 今後のスケジュールで日付が決まっているものはあるか。
- (事務局) スポーツ施設現地視察は休日の昼間を考えている。通常の会議は、お勤めの方が多いので夜を考えている。
- (会 長) 21年度はまず現状を知ろうということによいか。
- (事務局) よい。
- (会 長) 抽象的な形で計画をだすのか、それとも具体的な箱物を造るのか。施設を造るとなるとイメージがわきやすいが、その辺はどうか。何年までにこういうものを造るとか決めるのか。
- (事務局) 計画策定の基本的な考え方として3点ある。施設に関しては、人口10万人の安曇野市としての公共スポーツ施設の今後の在り方も含め、施設全体の整備、建替等に関する基本的な考え方を計画に入れてもらいたいと考えている。
- (会 長) 順次、歩きながら作っていくということによいか。その中でここを重点的にしようという形になっていけばよいか。
- (事務局) よい。
- (委 員) アンケートの結果を見て要望とかに優先順位をつけておいて話をするようになるのか。
- (事務局) アンケートなどは計画策定の資料だと考えてほしい。
- (事務局) 現状を見てもらって、アンケートも参考にしながら、施設のあり方などを検討してほしい。
- (委 員) 施設やアンケートを見たりと、準備段階と考えてもよいか。
- (事務局) よい。
- (会 長) 今年度は現状を知る。それを踏まえ、みなさんの考えも含めた上で計画を練っていくことになる。

(2) 安曇野市スポーツ振興施策の概要について

- (会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。
- (事務局) **【資料内容説明】**
- (会 長) スポーツ振興施策が4つあるという話であった。みなさんの中にも係わられている方がいると思う。質問、あるいはこんな経験をしているとか、これはこうだったとかを話して欲しい。1つ目のスポーツ・レクリエーション活動の推進のところ質問等あるか。

協 議 事 項 等

- (委 員) 市民運動会については5地域同じくらいの予算でやっているのか。
- (事務局) 予算に関しては共通の定額経費と人口割で出している。
- (委 員) 内容的には充実していてもしていなくても予算的には同じくらいもらえるということか。
- (事務局) 大会の規模に係わらず、どうしても必要な経費の部分が定額経費と思ってほしい。そのほかに人口割の経費を足してある。人口の多い穂高、豊科に比べ、人口の少ない堀金、明科は少なくなる。
- (委 員) 当日の参加人数によって充実度は違うと思う。その辺は考慮しないのか。例えば三郷は500人集ったと豊科は3000人集まったとしても貰える金額は同じという話であった。スポーツ振興というのが行政は内容を重視していないのではないかと思う。
- (事務局) 今年の運動会を5地域見て回った。人口の多いところは参加者が多かったという印象を受けた。そういう意味では固定の部分と地域の人口で積算するよりしょうがないと思っている。それぞれの地域で種目を作ってやってもらっているので、内容を評価してというのは難しい。固定と人口でというのが一番いいという気がしている。
- (委 員) わかった。また、その時期に話をしたい。
- (会 長) 次にスポーツ・レクリエーション施設の充実という項目のところで質問はあるか。
- (委 員) 学校校庭芝生化試験事業、学校教育も計画に含むという意味か。
- (事務局) 学校施設ではあるが、校庭を使うのは必ずしも学校の子どもだけではないと思う。その地域に住んでいるもっと小さい小学生より下の年代、スポーツ振興の事業として学校の協力を得て実施した事業である。
- (委 員) わかった。
- (委 員) 学校も授業数が増えたりして子ども、先生も忙しく、敷地内の除草、花壇の手入れも中途半端な状態である。文部科学省からおりてきた学校支援の事業があり、学校と地域がパートナーになっていかななくてはいけない。一つのコミュニティの場という捉え方もでてくるかと思う。地域の方も利用していただくという視点からやらしてもらっている。この試験事業がうまくいっていいとなり地域の協力体制ができれば、すべての学校のほうで実施できるようになるのではないかと思う。
- (委 員) 施設の維持管理で多額なものが載っているが、小さい修繕にも目を向けてやって欲しい。
- (事務局) この表については平成17年から主だったものを一覧として示した。小さな修繕についても必要性、緊急性に応じて順次、整備修繕を行っている。また、気付いた点があったら行って欲しい。
- (会 長) 続いて、スポーツ団体の育成と競技力の向上についてはどうか。
- (委 員) コーディネーショントレーニングは、昨年、体育の先生が集まって研修した。戻ってやろうと思っても仕事が忙しくすぐ忘れてしまう。今、ビデオを撮ってもらっている。17校にDVDにして配り、コーディネーショントレーニングを取り入れていきたい。
- (会 長) DVDの費用などは社会教育のほうからでるのか。
- (事務局) 全部でている。
- (会 長) それでは、総合型地域スポーツクラブの育成について質問等あったら、お願いしたい。
- (委 員) 定期的活動9事業は、バレーボール、ソフトバレーなどごく普通にやられていることを定期的にやっている。イベントは、夏に夕涼みグラウンドゴルフ大会、スポーツ in 常念という子どもからお年寄りまで参加してチームごとに点数を競いあうイベントを行っている。冬にも夏のレクリエーションを冬バージョンで体育館の中でも行っている。
- (会 長) 費用はどうなっているのか。
- (委 員) 参加費が会員は1000円で他の人は200円とかとっている。
- (会 長) 年会費はどうか。
- (委 員) 年会費は1000円。スポーツ保険の加入手続きの代行もやっている。
- (会 長) 指導者の方の人数はどのくらいか。
- (委 員) 体育指導委員と各種団体の代表者で立ち上げてやってきた。体育指導委員なしで各種団体だけで運営できるようにもっていかなくてはならないが、まだそこまではしていない。
- (会 長) 何か手当てみたいなものはあるのか。
- (委 員) いいえ。お弁当くらい。
- (会 長) 社会教育からのサポートはあるのか。
- (事務局) 金銭的なサポートはしていない。公民館事業との共同開催ということで行っている。今後どう

協 議 事 項 等

- いった支援が必要かは私たちの課題でもある。
- (委 員) そういった場合、体育館の使用料は払わなくてもいいのか。
- (事務局) 減免している。
- (委 員) 豊科でも総合型地域スポーツクラブを作ろうと目指して準備段階の会議を開いたり、一般の人に集ってもらって話をしてもらったりした。このことは非常に難しいことでボランティア活動でやらなければいけないことが一つあるし、一般の人たちがどこでも誰でも好きなスポーツをやるのが一つの原則である。これを進めるにあたっては、完璧なものを目指しますと相当大変な事業になってしまつてつぶれてしまうというのが他所から聞いた話である。安曇野市としてどういう風に取り組んでいくかは、近間のできるところから進めるというのが一番成功を目指すには早いだろうと聞いている。この関係もみなさんと知恵を出し合つて、どこでも誰でも好きなスポーツができる体制を作っていく、地域ごと作るのか、学校単位で作るのかはいろんな方法があると思う。積極的に体育指導委員としても取り組んでいきたい。
- (委 員) 体育指導委員会と体育協会が関係を一つにしてお互い勉強をして欲しい。
- (会 長) 指導委員会は年に1回はあるのか。
- (事務局) 年に数回は行っている。それぞれの地域で行っている小部会もある。
- (委 員) 合同の会議を持って一緒にやっていかなければならない。おそらくそれをやっていないと思う。市全体で体育指導委員とあれと一緒にいい案を作りたい。
- (会 長) あれというの体育協会なのか。
- (委 員) 体育協会ではなくて、指導員は種目ごとに認定を受けてやっている。
- (事務局) スポーツ指導員ということか。
- (委 員) そうだ。
- (会 長) また、いい課題だと思う。
- (事務局) 今言われたのは、体育指導委員とスポーツ指導員が連携を取り合つてということでしょうか。
- (委 員) 一緒になってやって欲しい。
- (事務局) スポーツ指導員は今もやっているのか。
- (委 員) 今もやっていると思う。
- (委 員) 体育指導委員の中にもスポーツ指導員の資格を持っている人はいる。前はスポーツ指導員協議会というものがあつた。体育指導委員はスポーツの運営に係わるものが主体でして、スポーツ指導員は競技を指導していくのが役目である。それが一体になってやっていくということは言われたそのとおりだと思う。それができていないのが現状である。仕事のすみわけができていなくてだんだん薄れていってしまったと思う。どういう風にしていくかも今後の課題だと思う。
- (事務局) スポーツ指導員の方は個人で資格を持っているだけだ。まず、協議会がなければいけないという事は分かつた。
- (委 員) テニスの資格を持っている。毎月スポーツジャーナルという本がきて各競技のスポーツ指導員のことが書いてある。4年に一回更新があり講習もある。スポーツ指導員の資格を持っている人はそれぞれの競技で結構いると思う。
- (事務局) スポーツ指導員協議会の発足ということもご提案いただければと思う。
- (会 長) この委員会でも作りましょうということであれば前向きに考えるのか。
- (事務局) 取り組んでいかなければならないと思う。

(3) 安曇野市スポーツ施設の現況について

- (会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。
- (事務局) 【資料内容説明】
- (会 長) 何か質問等あつたら、お願いしたい。
- (委 員) 堀金のテニスコートは全天候ではなく砂入り人工芝。
- (事務局) 訂正をお願いしたい。
- (委 員) 県民豊科運動広場のテニスコートの照明は使っていない。
- (事務局) 施設はあるが使っていないということである。
- (事務局) この施設、なかなか利用者が少なくなつてきているのが現状である。
- (副会長) ここに書いてある以外のものは市では管理していないということか。

協 議 事 項 等

- (事務局) マレットゴルフ場などは地域で管理しているものがある。中には市の方で管理してくれないかという要望もある。
- (委 員) 三郷には社会福祉協議会の中にゲートボール場がある。そういうのは関係ないのか。
- (事務局) こちらに載せたのは社会教育と学校教育の施設ということで他にもそういった施設はある。
- (委 員) 拾ヶ堰の自転車道路なんかはどうか。
- (事務局) 県で管理しているものだと思う。
- (委 員) これ以外にも実際に管理しているところは違ってもいろんな施設は市内にはあるということか。
- (事務局) ランニングコースも健康づくりといことで旧町村時代に看板を建てられ地域で事業を行って残っている。
- (委 員) 龍門湖公園のカヌーコースのゲートなんかも市で管理するのか。ほかにもパラグライダーの大会もあるがその辺はどうか。
- (事務局) ゲートに関しては国体予選のときに設置したと聞いている。川自体は県の管理である。プールを壊してから造るカヌーの乗艇場は市の管理になると思う。
- (委 員) 三郷中の講堂は、平成15年に全面改築している。
- (事務局) 訂正をお願いしたい。
- (会 長) 以上で協議事項が終わるが何か質問、聞き残したことはあるか。
- (委 員) スポーツに関して障がい者のほうでも力を入れ始めている。障がい者の関係は福祉事務所、一般の関係は教育委員会と分かれているので、その辺の連携を取ってもらって障がい者スポーツに理解をお願いしたい。
- (事務局) 庁内会議の中でも検討し、十分対応していきたい。
- (会 長) 今日話を踏まえてどのようにしていくか。今年度は、現場に出向けるチャンスもあるので少しずつ自分のやられてきたことだけでなく、いろんな中で全体の将来像を捉えて欲しい。
- (事務局) 次回、施設の現地視察を予定している。全部の施設を見てもらうことはできないので、こちらでリストアップしたのを見てもらう予定である。また、見たい希望の施設があったら言って欲しい。今のところ、11月22日、23日か12月6日を考えている。